

こんにちは

みささ議会です

令和2(2020)年

7月号

天然の熱気活泉
すは温泉



祝 温泉資源活用施設竣工記念式

主な内容

- 6月定例会・一般会計補正予算 …… 2
- 常任委員会で慎重審査 …… 3～4
- 議員3人が一般質問 …… 6～8
- 議案の賛否 …… 9
- 大好きみささ町 …… 10

すは温泉竣工式
(令和2年6月20日)

6月 定例会

新型コロナウイルス感染症対策の 各種支援事業費などを可決

6月定例会（6月4日～12日）は、町長から提出された補正予算や農業委員会委員の任命など19議案を審議し、原案どおり可決しました。

令和2年度一般会計補正予算は、1億2,685万円の増額で、補正後の予算総額は、67億9,765万円となりました。

主な補正予算の概要は次のとおりです。



マスク着用で審議

主なもの

◆ 新型コロナウイルス感染症対策事業

事業継続支援交付金 5,700万円

◆収入減少事業所に規模や形態に応じて交付金を交付

プレミアム商品券発行事業 950万円

◆プレミアム率30%の商品券販売で消費喚起と集客を促進

三朝温泉誘客キャンペーン事業 1,920万円

◆宿泊キャンペーンや湯めぐりクーポンにより、誘客を推進

上下水道・温泉配湯事業繰出金等 1,600万円

◆収入減の事業者の使用料を減免する経費に充当

感染症対策物品調達事業 164万円

◆消毒液やマスク等の備蓄体制を強化



◆ 学校教育振興対策事業

中学校壁面等改修事業 693万円

◆大雨時の校舎北側雨漏りを改修

中学校ICT教育環境整備費 23万円

◆インターネット家庭学習教材を導入



中学校校舎

常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

特別定額給付金の申請について

問 ニュースで話題となっていたが、口座を持っていない人への支給はどのように対応したのか。

答 現金支給で対応した。



特別定額給付金申請受付の様子

新型コロナウイルス感染症 対策物品調達事業 164万円

問 マスク等備蓄品を購入とのことだが、それぞれどれくらい購入の予定か。

答 マスクは町民一人当たり5日分（3万枚）、消毒用アルコール60本（1ℓ）、医療用ガウン等1セット（50枚）を予定している。



ウェブ教材で学ぶ

集団検診について

問 7月末まで中止となっているが、個別に医療機関で受診するということか。

答 秋以降の集団検診実施に向け、現在保健事業団と日程調整中。決まり次第お知らせしていく。

三朝小学校新校舎 建設候補地

問 小学校施設等検討委員会の中間報告を受け、教育委員会や総合教育会議での意見、結果はどうだったのか。

答 中学校敷地の中に将来の小中連携を見越した校舎の整備が望ましいという考えにまとまった。



小学校建設候補地（中学校敷地）

中学校 ICT 教育環境整備費 23万円

問 現在使用されている「すらら」とはどういうものか。

答 ウェブ教材で、インターネットで配信されるテキストを使い、自宅学習できるもの。インターネット環境が整っていない場合は学習プリントを配布して対応。

問 家庭環境によって学習環境に不公平が出るのはおかしい。再検討しては。

答 検討する。

小学校施設整備方針

問 方針決定までの進め方として、総合教育会議を開き、結果を議会へ説明、その後パブリックコメント（※）という流れでよいか。

答 最終的にその予定としている。

（※）パブリックコメント

行政機関が政策を決める過程で素案を公表し、広く住民の意見を聴いて意思決定に立てる制度。

令和2年度国際交流事業

報告事項 新型コロナウイルス感染症の影響により、中学生手作り訪仏事業、台湾台中市石岡区との中学生相互交流事業は、今年度は中止とする。

産業民生常任委員会

プレミアム商品券発行事業 950万円

問 新型コロナウイルスの影響に伴う町内の景気喚起のため総額3千万円分のプレミアム商品券が発行されるが、用途が分かれているようである。内訳は。

答 総額3千万円のうち、2千万円分は協賛する全ての事業所で使え、1千万円分は旅館限定となる予定。プレミアム率は30%で、1万円の商品券購入で1万3千円の利用ができる。

町民向けに「お風呂の日」 ～毎月26日に入浴料割引～

問 三朝温泉振興のための町民向けの取り組みはないか。

答 温泉街の15施設で、毎月26日を「お風呂(26)の日」とし、町民向けに日帰り入浴料金の割引が始まる。初回は8月26日の予定で、詳細は町報等で町民皆さんにお知らせする。



毎月26日はお風呂の日



有効活用を目指す学校跡地(旧東小)

水田農業サポート事業 850万円

問 これからのグリーンサービスの運営は、これまでと違い、三朝町の水田農業全体を把握し、担い手や集落のサポートも含め、組織運営が図られていくような考え方に変わっていくと理解してよいか。

答 持続可能な三朝町の水田農業構築にむけ、機能する組織になってもらいたいと考えている。

学校跡地施設等利用方針 ～民間企業による活用が基本～

問 これまで検討が続けられてきた旧東小学校と旧南小学校の跡地利用の方針は。

答 基本的には、跡地施設一括での売却を基本とした民間企業による活用を目指し募集を始める。なお、提案内容によっては、貸付や部分的利用についても、柔軟に検討していきたい。

コミュニティ助成事業 250万円

問 申請者と事業内容は。

答 小鹿地域協議会が代表申請者となり、テントや椅子、座卓を整備する。広く町民皆さんに活用いただくこととしている。

事業所の上下水道、温泉 使用料を支援 1,600万円

問 今回、新型コロナウイルスの影響に伴う事業所支援として、上下水道、温泉配湯使用料を免除することとしているが、その支援規模は。

答 一般会計から各会計への繰出金等として、簡易水道10万円、水道650万円、集落排水30万円、下水道750万円、温泉配湯160万円を計上している。

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

一般質問

あなたの声を 町政に

3人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
6	1. 新型コロナウイルス感染の支援策はスピード感をもって	山口 博
7	1. 新型コロナウイルス感染症の影響への対応について	松原 成利
8	1. 新型コロナウイルス感染症に対する三朝町の対策について 2. 三朝小学校の新しい建築場所について	福田 茂樹

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、一般質問の録画放送を行っています。

問 コロナ支援策の実施は スピード感をもって

答 町助成金等の申請の簡素化を図る

町が助成金等の立替え支給 をしてはどうか

山口

各種の助成金は審査や支給に時間がかかり、受給を待つ事業者は一日も早い支給を待っており、この様な状況を解決するため、町が助成金等の立替え支給をしてはどうか。

町長

審査抜きでの立替え支給は現実的には無理と考える。資金需要への対応や固定経費支援など、町が関わる部分について早い対応をするよう職員に指示している。

助成金等支援事業の申請手 続きの簡素化を

山口

国・県の各種助成金、支援金は申請には多くの書類を要し、手続きが煩雑と聞いている。町の支援事業の申請については小さな町の利点を生かして申請の簡素化を図りたい。

町長

町が独自に取り組む支援事業については、先行して実施の国・県の申請に使用した書類を利用するなど小回りの利く町の利点を生かした制度設計を工夫したい。

国・県助成金への上乗せ支 給を

山口

国・県の各種助成金・給付金は必ずしも十分と言えないので、町独自で国・県の各種助成金・給付金への上乗せをしてはどうか。

町長

単に国・県の各種助成金・給付金への上乗せではなく、町には既存制度の足りない部分を補っていくような役割が必要と考える。

旅館や事業者に対するニー ズ調査の結果は

山口

町では各旅館や事業者を回って、色々なニーズを調べたと聞いているが、それらに応える施策としてどのようなことを考えているのか。

町長

今回は個々の旅館、事業者に力を発揮してもらう支援を考えている。例えば、新商品開発の支援、雇用継続の支援など、事業に頑張っていたりするための個別の給付金を作っている。

水道料金猶予・減免等の支援 策の申請方法と支援期間は

山口

水道料金の猶予・減免を提案しているが申請方法、対象期間は。

建設水道課長

申請は、前年対比の収入減が分かる書類を添付していただき減少率により、支援を決定する。期間は、



山口 博 議員

事業所が申請する任意の連続する3か月間を考えている。

長期戦を見据えて状況に応 じた臨機応変の対策を

山口

町ではコロナ対応を1年半の長期戦を想定して支援プロジェクトを立ち上げているが、状況の変化に応じて臨機応変に有効な手を打つことが大事と考える。次の第2弾、第3弾の有効な支援策が適切に提案されることを期待している。

町長

旅館組合、観光協会ともコロナ対策は長期戦になると話し合っている。そのような観点から1年半の長期的視点でプロジェクトを作った。

年が明けたらインバウンドに取り組み、コロナ感染からの回復が実現するまでは、三朝温泉に行きたくなくなるもてなし体制を作るなどに取り組む必要があると考える。



三朝温泉の風景

政策

問 新型コロナウイルス感染症の影響対応は

答 必要な事業は計画に沿って進める

大型事業は遅れなく新規事業は計画的に

松原

新型コロナウイルス感染症の状況によっては将来的な国・県の補助金等が付かない予想もされるが、現在進めている小学校校舎新築事業や情報通信基盤設備改修事業等の大型事業は遅れなく、新規事業も計画的に取り組むべき。

町長

財政措置においてスケジュール等の見直しの必要が生じるかもしれないが、将来のまちづくりに必要不可欠であり、必要な投資の抑制は本格復旧に影響しかねず、計画どおり進められるよう国の動向等の情報収集に努める。

今後の財源動向についての見解は

松原

町税や地方交付税の落込みの中での事業継続を心配される声もある一方で事業は必要だが、財源動向についての見解はどうか。



「すーは一温泉」のオープンは新型コロナウイルス渦中の明るい話題

町長

地方交付税減額となれば全国が大変なことで、国への働きかけを強化したい。町税は基金調整や臨時交付金での手当てとなるが、来年、再来年の状況は注視する必要がある。

小中学生にオンライン授業環境を整えるべき

松原

緊急事態宣言で通学できない状況で学習環境に新たな問題点が見えたが、全国ではオンライン授業が行われた学校があり、丁度、情報通信基盤設備改修事業やG I G Aスクール構想も進んでいるなか、小中学校生全員がオンライン授業を受けられる環境を整えるべきではないか。

町長

感染症の第2波、第3波の備えとして必要と感じており、教育委員会で構想が練られているところで予算措置等を行いたい。

教育長

2回休校したが学びを止めない取り組みが重要であり、オンライン教材「すらら」の導入や中部地区スクラム教育事業の一環でケーブルテレビでの授業試験放送等の実験を行っている。ネット未整備の家庭も考慮し、三朝版寺子屋プロジェクトという遠隔授業の実証実験等、可能な限り整備に努めたい。

松原

タブレット端末を貸与してのインターネット経由による計画はあるか。



松原 成利 議員

教育長

保護者の心配もあり、寺子屋方式は貸与ではなく本校と分校のような形態である。

町内体育文化活動には施設使用料免除を

松原

自粛生活で休止状況の体育文化活動は日頃の練習等が重要だが、支援策として町内団体や個人が行う体育文化活動の町内施設使用料を免除してはどうか。

町長

町民の方の利用料は低く設定しており、活動停滞の要因とは考えない。受益者負担を原則とし、限られた財源や資源を効果的に活用したい。

教育長

受益者負担の原則の下、活性化支援は町報やホームページでの活動紹介など、別の方法としたい。

松原

利用料が格安なことは承知しており、行政の気持ちとしての支援策に期待したい。

政策

問 新型コロナウイルス感染症に対する町内事業者への対策を万全に

答 時期に応じた効果的な支援をしていく

事業者に対する上下水道・温泉配湯使用料の減免内容は

福田

旅館を中心に事業者が厳しい状況の中、上下水道・温泉配湯の利用料を20%以上の収入減で徴収猶予、50%以上の収入減で減免してはどうか。

町長

水道料金等の支援については、収入が20%以上減少している事業所を対象に徴収猶予することとし、減免については、30%から50%未満の減少で半額、50%以上の減少で全額免除したい。

事業継続支援交付金の町独自支援を

福田

危機を乗り越えていくため、大きな事業所で50%以上の収入減少があれば500万円とし、そこから何段階かに分けて一番小さいところで10万円の支給を提案する。

町長

30%以上の収入減少で、旅館は客室数に応じて200万円から100万円。その他の事業所は、従業員数に応じて50万円から10万円を交付する。



福田 茂樹 議員



町内事業者へ厚い支援を

教育

問 三朝小学校の新しい建築場所は

答 総合的な観点で評価し判断したい

基本設計の途中経過を含めて、図面で提示を

福田

数か所の候補地提示はあったが、基本設計の途中経過を含めて、図面での提示が一度もされていない。

町長

候補地を4か所に絞り込んで整理をしているところ。本会議中の委員会等で具体的に説明していきたい。

三朝小学校の東側に木造の小学校を造るべき

福田

新しい校舎は、三朝小学校の道を隔てた東側、つまり以前に町から提案のあった場所にすべきと考えるが町長の考えは。

町長

新校舎は、利便性、安全性、経済性、将来性等、総合的な観点で候補地を評価し、選定経過を説明したうえで、皆さんの意見を伺って判断したい。



三朝小学校東側の風景

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果	
		松原成利	松原茂隆	石田恭二	吉田道明	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎	福田茂樹	平井満博	山田道治	牧田武文		清水成眞
町長提出議案名														
(5月臨時会)														
29	専決処分の承認について（令和元年度三朝町一般会計補正予算（第6号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
30	専決処分の承認について（令和2年度三朝町一般会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
31	専決処分の承認について（三朝町税条例等の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
32	専決処分の承認について（三朝町国民健康保険税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
33	令和2年度三朝町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	令和2年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	三朝町町長等の給与の特例に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	三朝町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37	三朝町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	三朝町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	三朝町基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	工事請負契約の締結について（三朝町住民ネットワーク光化事業整備工事（幹線等））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	工事請負契約の締結について（大瀬地区下水道管渠改築工事（R1-1））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	工事請負契約の締結について（大瀬地区下水道管渠改築工事（R1-2））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(6月定例会)														
43	令和2年度三朝町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	令和2年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	令和2年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	令和2年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	令和2年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	令和2年度三朝町集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	令和2年度三朝町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	三朝町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	三朝町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	財産の無償譲渡（土地）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
55 ～ 61	農業委員会委員の任命について（7件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案名														
4	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※清水成眞議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 6月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 三朝町職員労働組合	採択 意見書提出	新型コロナウイルス対策等、緊急対応を要する課題にも直面し、さらなる地方財政の充実・強化が必要である。
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	鳥取県労働組合総連合	趣旨採択	県内の景気動向、県内企業の実情を勘案すると、困難な状況にある。



三朝中学校3年
渡邊千愛

地域全体で「あいさつ」のおもてなしを

三朝町には、温泉や三徳山などの豊かな自然を目的に、大勢の人が訪れます。しかし、4月に緊急事態宣言が全国に出され、ほとんどの旅館が6月末まで休業に入りました。

緊急事態宣言の解除後、徐々に再開する旅館には人が戻りつつあります。これまでのようにたくさんの人に戻ってきてもらうために、地域全体で「おもてなし」をすることが大切だと思います。

たくさんの人に訪れてもらうために、地域に昔からある資源や、歴史、伝統などを再度伝えることも大事ですが、三朝町の一番の魅力は「住んでいる人」だと感じています。

私は、三朝町の道ですれ違おうとお互いにあいさつ

を交わす明るい雰囲気が好きです。三朝町を訪れた人にさらに元気になってもらうためにも、私たちがすぐにできるおもてなしは「あいさつ」だと思います。

学校では毎日、あいさつ運動をしていますが、元気なあいさつが返ってくると私も元気になります。誰でも簡単に取り組むことができるあいさつで、訪れた人たちと一緒に元気を共有し、また三朝町を訪れたいと思ってもらえるように、学校だけでなく地域でも取り組んでいきたいと思っています。

議会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは**議会事務局（電話43-3511）**にお問い合わせください。

9月定例会の日程予定（案）

会期 9月7日～9月18日
（12日間）

※日程は変更になる場合があります。
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

- ・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

- ・町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- ・議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者
議長 清水 成眞
編集
議会広報常任委員会
委員長 松原 成利
副委員長 藤井 克孝
委員 山口 博
委員 平井 満博
委員 石田 恭二

待ちに待った県をまたいでの移動自粛がようやく先月中旬に全面解除されましたが、まだまだ終りの見えない新型コロナウイルス感染症です。
コロナ感染で世間が大騒ぎしている最中、ふるさと健康村には今年も多くのホテルが、幻想的な光を放ち優雅に舞っていました。
昨年は千人を超す多くの観光客で賑わったホテル観賞でしたが、今年は残念ながら見る人が少ない中であって、ホテルは世間の騒ぎなど知らず健気に何時もと変わらず舞っていました。
来年の今頃は、コロナ感染が終息し、元気な三朝に戻っていることを祈らざるを得ません。

（山口 博 記）

